

## 五人の斥候兵 (1938)

メディア 映画  
ジャンル ドラマ 戦争  
製作国 日本  
色彩 B&W  
時間 78分  
初公開日 1938/01/07  
公開情報 日活多摩川

## 【解説】

田坂具隆が原作（高重屋四郎名義）と監督を務めた戦争ドラマ。荒牧芳郎が脚本を担当した。国策に沿って製作された戦争高揚映画だが、カメラワークと、ヒューマニスティックな視点とが評価された。激戦を乗り越えた岡田部隊のもとに、本隊から敵陣の偵察命令が下った。部隊長の岡田は五人の兵士からなる斥候隊を組織し、敵の情報収集に向かわせた。五人は川の対岸に数多くの中国兵とトーチカなどを発見、部隊に戻ることにした。しかしすでに彼らは敵の部隊に取り囲まれていた。機銃掃射を受けながらも、五人はそれぞれその場を離れた。一人また一人と兵士たちが帰還したが、木口一等兵だけが戻らない。そんな中、本部から明朝敵陣を占拠せよという命令が下った。

## 【クレジット】

監督 田坂具隆  
原作 高重屋四郎  
脚色 荒牧芳郎  
撮影 伊佐山三郎  
出演 小杉勇 岡田部隊長  
見明凡太郎 藤本軍曹  
伊沢一郎 木口一等兵  
井染四郎 中村上等兵  
長尾敏之助 遠藤一等兵  
星ひかる 長野一等兵  
井上敏正 正木一等兵  
渡部清 井上上等兵  
潮万太郎 田中一等兵  
西春彦 安田伍長  
佐藤円治 軍医  
菊池良一 伝令兵  
北龍二 大尉